

## 編集後記

広島県腫瘍登録事業は、昭和48年4月1日から登録作業を開始し、令和3年3月31日をもって登録作業を終了しました。この間の登録件数は150万件を超え、集積された登録情報は報告書作成の他、数多くの論文や学会における発表に利用されてまいりました。

ここにこれまでの事業の道のりを振り返るとともに、積み重ねられた業績をまとめることで、事業の集大成としたいとの思いから、記念誌を発刊する運びとなりました。

記念誌の発刊にあたっては、鎌田七男先生、井内康輝先生、安井弥先生、武島幸男先生に回顧録を執筆いただき、前広島県医師会腫瘍登録室長の梶原博毅先生には、広島県腫瘍登録事業の歴史と業績をまとめていただきました。また、広島県腫瘍登録事業に多大なるご協力をいただいた、広島県知事、広島大学医学部長、広島大学病院病院長、広島大学歯学部長、広島大学原爆放射線医科学研究所長、放射線影響研究所理事長からは温かいご祝辞を賜り、記念誌に花を添えていただきました。

記念誌の編纂は編纂委員会で行いましたが、作業を通じ、広島県腫瘍登録事業が如何に多くの方々に支えられてきたのかを改めて実感しました。広島大学病理学教室をはじめ、放射線影響研究所の先生方、各病院の病理部門の先生方の途切れることないご協力がなければ、この大きな事業は成し遂げられなかったと思います。がん対策や種々の研究に、極めて精度の高い情報を提供してきた本事業の功績は、広島県と広島県医師会の歴史に深く刻まれるものと確信します。

最後に、この記念誌発刊にあたり、諸先輩方のご功績、ご努力に深く敬意を表するとともに、広島県腫瘍登録事業にご協力いただきました全ての皆様に深く感謝申し上げます。

一般社団法人 広島県医師会 常任理事（腫瘍登録担当） 藤川 光一

広島県腫瘍登録事業記念誌編纂委員会

松村 誠、梶原 博毅、安井 弥、武島 幸男、小笹 晃太郎、  
杉山 裕美、玉木 正治、藤川 光一、三宅 規之